

舞鶴引揚記念館 レクチャーコンサートの開催について 「シベリア抑留の音楽・文化～記憶の継承へ～」

引揚記念館では、引き揚げやシベリア抑留の史実の継承事業として、シベリア抑留中の過酷な状況下の中で行われていた多様な文化活動に着目した研究者とのコラボ事業「レクチャーコンサート(講演と演奏会)」を開催することとなりましたので、お知らせします。

記

1. 日時 令和4年2月27日(日) 14時～
2. 会場 舞鶴引揚記念館セミナールーム
3. 内容 レクチャーコンサート
 - 講話 「シベリア抑留とは」
講師：小林昭菜氏(多摩大学専任講師・政治学博士)
 - 講話 「シベリア抑留の音楽・文化」
講師：森谷理紗氏(桜美林大学非常勤講師・芸術学/音楽学博士)
 - 演奏 シベリア抑留下の日本人収容所で抑留者たちを癒した音楽など
※曲目等詳細については、決まり次第、お知らせします。
4. 参加料：無料(別途入館料が必要)

【講師からのメッセージ】

「極寒」「飢餓」「重労働」のいわゆる三重苦が、シベリア抑留の代名詞のようになっていますが、そのような過酷な状況のなかで多様な文化活動が行われていたことはあまり知られていません。祈る気持ちで彫られた仏像や、娯楽のための囲碁、将棋、日記のように綴られた詩や俳句、そして新たな詩をのせて歌われたメロディなど、生死の境界線にあっても創造的な行為を行う人間の姿が確かに存在していました。

こうした自発的な創造活動はやがてサークルや演芸会となり、各地で楽劇団が結成されるようになっていきます。今回のレクチャーコンサートでは、これまでの研究成果をもとにシベリア抑留下の日本人収容所で鳴り響いていた音楽や音風景を再現しつつ、当時の音楽・文化を紹介し、歴史の継承について考えていきます。

【お問い合わせ先】

舞鶴引揚記念館：☎0773-68-0836、FAX0773-68-0370
E-mail: hikiage@city.maizuru.lg.jp

